

経営比較分析表（令和6年度決算）

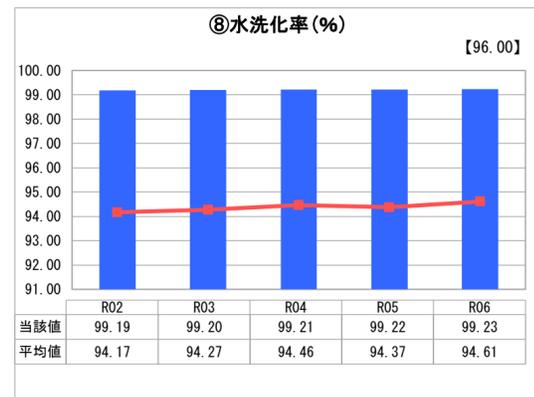
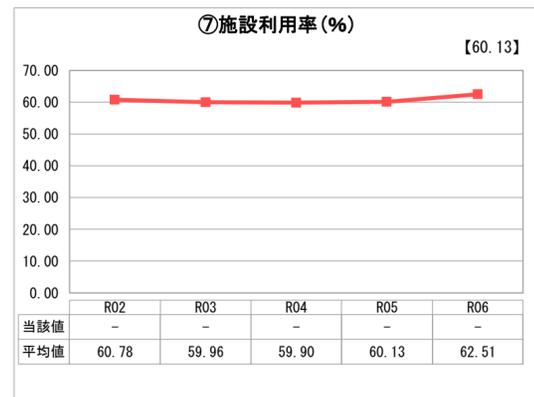
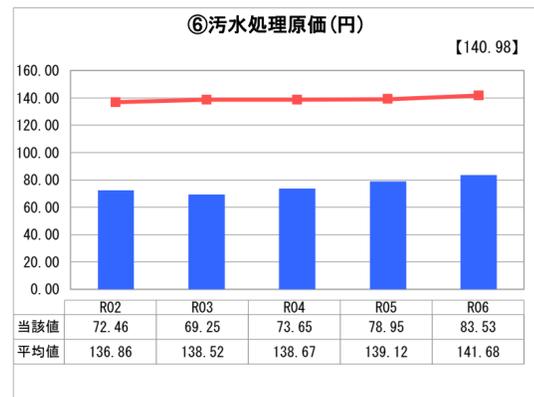
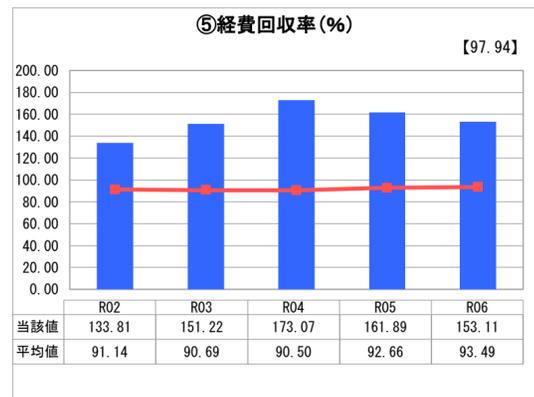
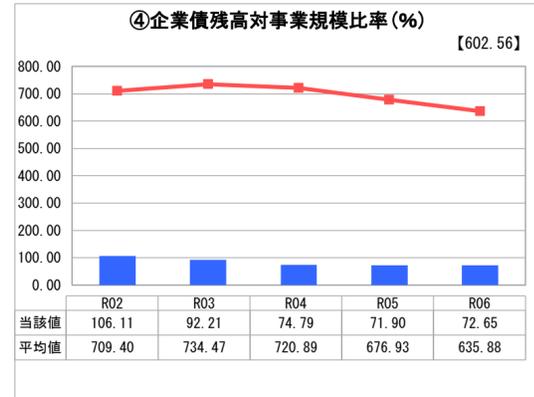
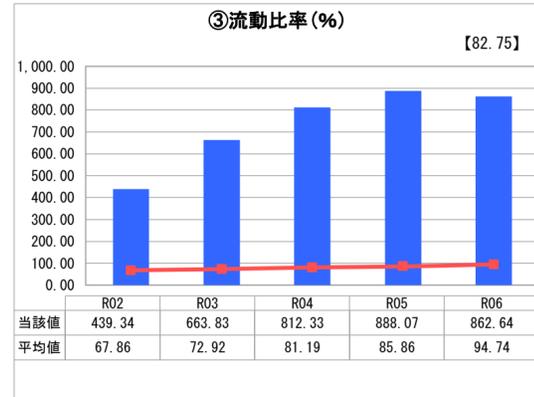
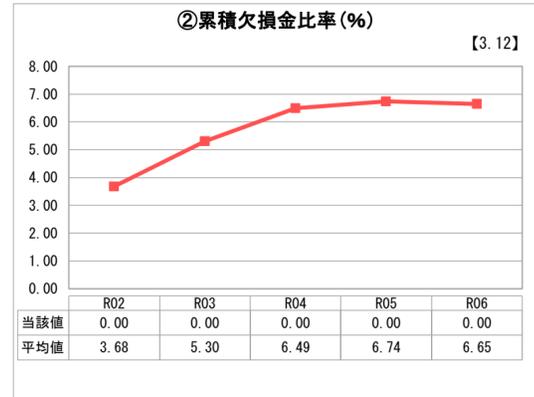
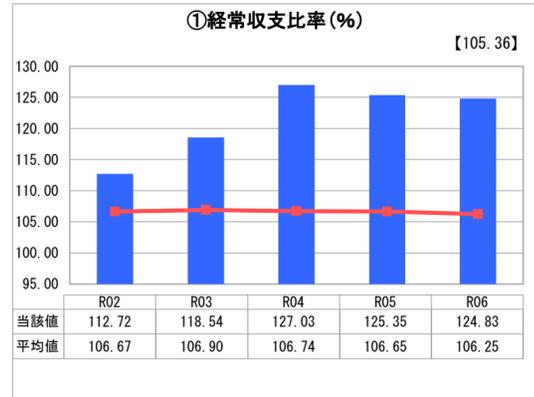
兵庫県 三田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	90.44	83.22	90.73	2,277

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
106,482	210.32	506.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
87,427	17.48	5,001.54

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

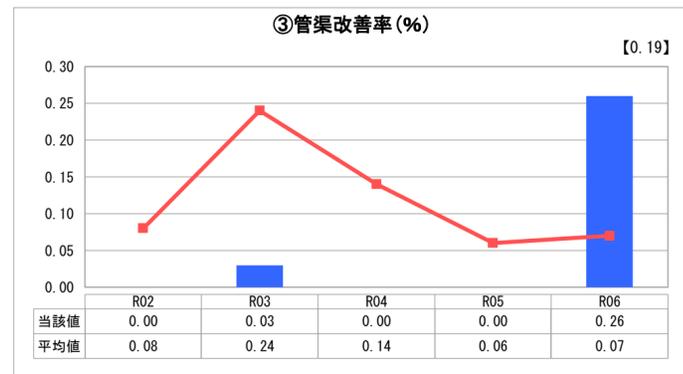
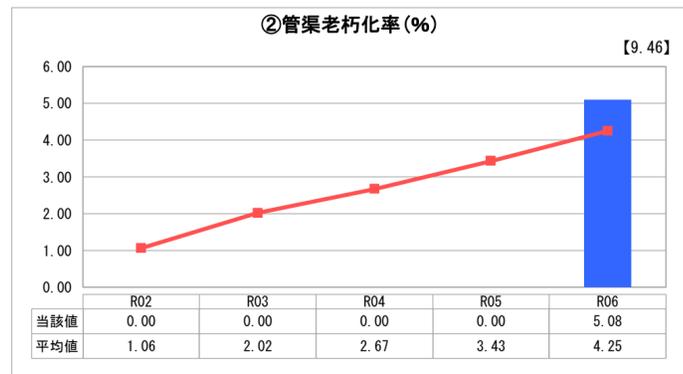
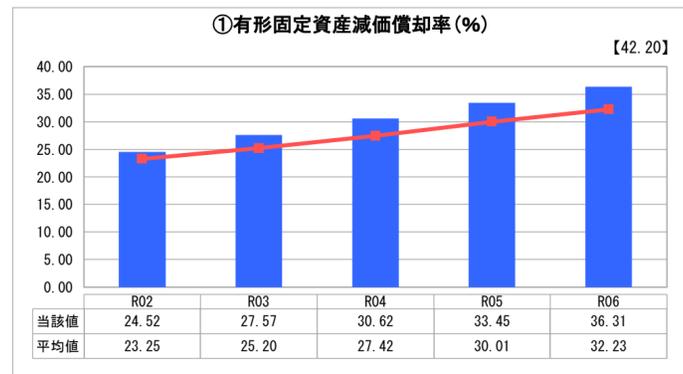
1. 経営の健全性・効率性について

公共下水道については、流域下水道方式を採用しているため、終末処理場を所有しておらず、類似団体と比較しても⑥汚水処理原価が低いため、⑤経費回収率も高く、効率的な経営が行われています。④企業債残高対事業規模比率が他団体と比べ低いのは、ニュータウンの管渠の取得にあたっては、大規模開発団体や民間開発企業からの受贈により取得した資産が多く、企業債の借り入れが少ないためです。よって、公共下水道事業では、類似団体と比較しても⑧水洗化率も高く、効率的、健全な経営がなされていると判断できます。また、令和3年度に使用料改定を行ったことにより、経常収支比率や流動比率が改善しました。しかし、本市の下水道事業は特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント事業への補てんもあり、更新投資等に充てる財源が確保されていないため、今後経営改善を図っていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

公共下水道事業においては、耐用年数(50年)を超過した管渠資産が発生し始めました。ニュータウンを中心に一時期に整備した資産が多いことから今後老朽管が急激に増えていくことが想定されます。施設更新は平準化を図るなど計画的に進める必要があり、そのため、ストックマネジメント計画に基づき、管渠等の施設の計画的かつ効率的な管理及び改築更新を進めていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少や生活様式の変化等により、使用料収入は減収が予測されます。また、効率の悪い事業が経営を圧迫してきていることから、財源の確保が必要です。今後の下水道事業の方向性を示した「下水道ビジョン」や投資・財政計画である「経営戦略」に基づき、令和3年10月に使用料改定を実施しました。今後も適宜、経営戦略等を見直し、経営改善を図っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。